

SOAI

相愛ファミリア

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1
相愛中学校・相愛高等学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1番23号

2018
No. 34

familiar



聴く人の心に届く演奏を

インタビュー！社会で活躍する卒業生

柏山七海さん

関西フィルハーモニー管弦楽団
ヴァイオリン奏者

聴く人の心に 届く演奏を

社会で活躍する卒業生

関西フィルハーモニー管弦楽団
ヴァイオリン奏者

かしま ななみ
柏山 七海 さん

2010年 3月 相愛高等学校音楽科卒業
2014年 3月 相愛大学音楽学部
音楽学科弦楽器専攻卒業
2017年10月～ 関西フィルハーモニー
管弦楽団に所属

ヴァイオリニストの柏山七海さんは、2017年10月から関西フィルハーモニー管弦楽団に所属しています。「個人の力量が試される厳しい世界ですが、大好きな音楽の世界に身を置いて幸せです」と語る柏山さんに今の思いを聞きました。

柏山さんとヴァイオリンとの出会いは「物心ついた頃から」といいます。「姉がヴァイオリンを習っていて、私も興味を持ったようです。1歳半のころには右手に猫のぬいぐるみ、左手に小さなヴァイオリンを持ってよちよち歩きしていたみたい」。レッスンのスタートは3歳から。その後小学2年生から相愛学園の音楽教室に入り、相愛オーケストラにも出演しました。自然な流れで相愛高校音楽科へ。そして、さらにもっと深くヴァイオリンを勉強したくて相愛大学音楽学部音楽学科弦楽器専攻へ進みました。

音楽漬けの高校、大学時代

高校時代、大学時代を振り返ると本当に音楽漬けの毎日だったらしい。「ただ上手くなりたくて、時間を惜しんで練習しました。1日8時間練習していたこともありましたね」。思い出深いのは大学のオーケストラ合宿だったとか。「合宿中は朝から晩まで分奏と合奏の練習をするんです。合宿の最後にいろんな楽器の音が組み合わさってひとつの交響曲が生まれたときの達成感には忘れられませんね。それと、高校の乙女祭。クラスのみなどと歌ったり、演奏したり。ほんと、楽しかったのをよく覚えています」

大学では田辺良子教授に演奏技術はも

ちろん、音楽に向き合う姿勢をたたき込まれたそうです。「思うように弾けず、悔し涙を流したこともありましたが、先生の厳しい指導のおかげで、ヴァイオリンが自分の体の一部と思える感覚が身につきました」。先生の勧めで学生のころから関西フィルのエキストラを務めるうち、オーケストラに入りたい気持ちが強くなっていったといいます。

譜読みと練習に追われる日々

でも、すぐにチャンスがやってきたわけではありません。卒業後はソロや室内楽などフリーランスで地道な活動を続けました。将来への不安など苦しさも味わった。そして、ようやく巡ってきた関西フィル団員募集のオーディション、音楽人生を賭けた演奏で見事、合格したのです。「うれしくて涙が出ました。入団後は、休む暇もなく本番を迎えるので、日々準備に追われています。しかも知らない作品にもたくさん出合いますから譜読みだけでも大変です。演奏には作品が生まれた時代背景や作曲家が曲に込めた思いなど曲の解釈も欠かせませんから、もうひたすら勉強と練習、鍛錬の日々です！」

幅広い表現力を求めて

関西フィルの音楽監督は世界的ヴァイ



オリニストのオーギュスタン・デュメイ氏が務める。「彼のヴァイオリンは、音の幅がとにかく広くて、表現力がすごいです。深い表現力を探求し続けていますから、いつもお会いするのが楽しみだし、とても勉強になります」。インタビューの締めくくりに自身の音楽家としての決意をこう語ってくれました。「言葉では表現できない溢れ出る感情や思いをヴァイオリンの音色で表現し、聴いてくださる皆さんの心に届くような演奏をしたいです」

後輩へのメッセージ

「学生時代に学んだことは、一生の財産になります。それぞれの夢を諦めずに目標を持ってチャレンジしてほしいと思います」



2014年3月 相愛大学音楽学部卒業演奏会

2018年11月 関西フィルハーモニー管弦楽団「さすらいの風景」

05
LIVE REPORT

相愛高等学校
音楽科3年生
松蔭ひかりさん



**チェロを通じて人々と
音楽の言葉で語り合いたい**

音楽科3年生の松蔭ひかりさんはチェロの面白さを「人の声に音域が近く、親しみやすい音が出る」と語ります。「音楽を通して、さまざまな表現が遠くの人にもしっかりと届くように、いつも注意しています。」

音楽の喜びを共有できる感動

小学3年生からチェロをはじめ、6年生からはスーパーキッズ・オーケストラ(SKO)に参加しました。「最後のステージは2018年9月の定期演奏会です。お客さんが立ち上がり、盛大に拍手してくれたことに感激しました。特に思い出深いのは、東日本大震災の慰問公演。「被災された方々が演奏をとても喜んでくださって、音楽の喜びを共有できたと感じました。あの時は自分たちの方がパワーをもらったと思っています」

相愛でチェロの道を極めたい

相愛高校の音楽科に入学したきっかけは、「幼い頃から相愛学園の音楽教室に参加していたので、親しみがありました」という松蔭さん。高校に進学する時、音楽科に進もうか普通科にしようかと悩みましたが、「相愛の音楽教室やSKOで経験した楽しさが忘れられず、音楽科を選びました」

音楽科の良さは「音楽に多くの時間をかけられることと、学校の友人と深い音楽の話ができることです。アンサンブルも楽しめます。正規のレッスン以外にも、学校で個人練習することができますが、みんな本当に熱心ですね」。和声法や聴音など高度な音楽の専門科目を受ける中で、特に好きな授業は音楽史です。また相愛大学のオーケストラに参加し、合宿練習も経験しました。「大学生の皆さんが音楽と向き合う姿が勉強になりました。私も知識や表現の幅をもっと広げていきたいです」

仏さまの教えから気づきを得る

宗教の授業や日々の礼拝についての感想を聞くと、心に響く言葉がいただけるという答えが返って来ました。「小さな努力では大きな成功を得られないという言葉聞いて、本当にそうだなあと思いました」。仏さまの教えを聞く時間は、自分自身を振り返る貴重な機会になっています。

12月4日、第72回全日本学生音楽コンク

レ全国大会で見事1位に輝いた松蔭さん。これからも力強く、個性豊かで味わい深いチェロの音色をめざして歩み続けます。



大阪シティ信用金庫
総務部次長
よしなり
吉成良輔氏



相愛大学 人文学部
向井光太郎 講師

地元大阪の将来を担う人材を養成しようと、大阪シティ信用金庫(本店・大阪市中央区)が本学人文学部で寄付講座「国際金融論」を開いている。運営する大阪シティ信用金庫の吉成良輔氏と、人文学部の向井光太郎講師(経営学・マーケティング)に聞きました。

——講座の目的は?

吉成 「国際金融論」と聞けば、難しそうに思えますが、私たちの普段の生活の中に国際金融は息づいています。日本経済はもはや国際的な要因なしには語れませんから。しかも動きは年々激しくなっています。世の中の変化に興味を持ち、変化に対して敏感になって、アンテナを立てておく。世界の流れを見る目を養うことは社会的な実践力を身につけることにつながります。

向井 ご存じの通り最近では電子決済などが増え、お金のマネジメントの形が急速に変わってきています。そんな時代だからこそ、実務のプロからダイレクトに、金融システムを学び、これからの社会を支える金融ビジネスについて知ってほしいと、後期専門科目(全15回)に組み込みました。私が大学でテーマにしている社会とつながる教育「コネクティッド・スタディ」のひとつです。

——どんな内容ですか?

吉成 高橋知史(さとし)理事長をはじめ、役員がリレー形式で講師を務めています。人事採用、若手の女性職員の目から見た信用金庫のサービス、コンプライアンス、企業支援などをテーマに、身近なエピソードを交え、国際金融のあらゆる側面について実感を持って学べるよう工夫しています。教えていると、街の活性化に関心を示す学生や、ビジネス支援に興味を持つ学生もいて、テーマごとに反応が違うのが面白いですね。

生きた金融実務を学ぶ

大阪シティ信用金庫「寄付講座」を開講

向井 普段、なかなか接点のない金融機関の人に会えるのとあって関心を持ってくれる学生がたいへん多く、約70人が履修しています。最初は緊張していましたが回を重ねるごとに表情も変わってきて、コメント数も増えてきました。

——この講座を通して伝えたいことは?

吉成 大阪には世界一の技術力を持つ中小企業が多くありますが、深刻な人手不足です。ものづくり技術の承継が困難になれば地域の損失になります。中小企業が抱える課題を解決するのも信用金庫の使命です。そのために中小企業の合同就職説明会を大阪市と共催したり、地域商店街のにぎわいづくりなどにも力を注いでいます。なぜ信用金庫が中小企業を支援し、地域経済を支えていくのかを知って、地元企業や地域経済に興味を持ってほしいですね。まだ自身の得意分野や興味があることがつかめていない学生もいると思いますが、何かひとつアンテナに引っかかったとき、気づくことがあります。この講座がそのきっかけになればうれしいですね。

——期待することは?

向井 例えばいま、外食産業の方はペイシステム(支払い方法)をどうしようかと悩んでいますね。将来、どんな仕事に就いても、やはり金融をしっかり知っておいてもらいたい。あらゆる会社がこれからの金融システムを知っておくのは必須です。また、若者ならではの新しい発想が必要とされることもあるはずです。金融は社会を動かす基本です。金融を知ることはまさに社会を知ることなんです。必ず役立つはずです。

一番期待するのは、学生が視野を広げられること、そのきっかけがこの講座だと思っています。学生は怖がらずに目の前のドアを開けて、人とつながり、どんどん世界を広げてほしいと願っています。

芸術文化社会の第一人者を養成する 大学院音楽研究科が始動



2018年4月、10名の学生を迎えて大学院音楽研究科が始動しました。大学院では、高いレベルの演奏技能を基に、音楽に関する専門性や応用力、現代の音楽文化を牽引しさらに発信する能力の向上など、高度な芸術文化人養成のカリキュラムを展開しています。例えば専門特論科目の1つである「音楽によるアウトリーチ」は、病院・医療施設への訪問や地域からの依頼演奏への出演を、企画から演奏まですべてにわたってマネジメントする実践研究の場となっています。

また大学院開設にあわせて、大学院生、相愛大学の教員・講師、プロとして活躍する卒業生などによる管弦楽団「相愛フィルハーモニア」が編成され、7月22日、南港ホールで第1回定期演奏会を開催しました。尾高忠明客員教授の指揮のもと、大学院1年生の稲本愛歌さ

んを独奏者とした『ハイドン／チェロ協奏曲第1番ハ長調』や『モーツァルト／交響曲第41番ハ長調「ジュピター」』などが演奏され、満員の会場から喝采を博しました。大学院生がそのオーケストラの一員になることで、まさしくプロの演奏家としての実戦練習の場となります。



世界も認める素晴らしい演奏で観客を魅了

世界サクソフォン会議inクロアチア

3年に一度、世界中から1,000人規模の奏者が集結する「世界サクソフォン会議」が7月にクロアチアのザグレブ市で開催され、相愛サクソフォンアンサンブル14名が参加しました。本学元教授の大前哲氏に委嘱した新曲に加えて、ドビュッシー、レスピーギを演奏しました。

会場となったクロアチア国立ザグレブ劇場での演奏には盛大な拍手と歓声が送られ、学生たちはそれまでの厳しい練習が報われた喜びを味わうとともに、演奏に対する大きな自信にもつながりました。



1988年10月19日来学時



2012年公開講座にて



2015年レッスン風景

ジェルジョード先生との思い出

カジメシュ・ジェルジョード先生は、1970年代、ポーランドがまだ社会主義国であった時代から、毎年のように相愛にお見えになられました。その後、1988年、相愛学園の創立100周年記念式典には、ショパン音楽院（現ショパン音楽大学）の院長（学長）として本学を訪れ、当時としてはまだ珍しかった大学間の学術交流協定を締結。以来、先生を始めとするショパン音楽院の教授陣が来学し、相愛生の指導に当たるようになりました。また1995年からは毎夏、ワルシャワで相愛生のために夏期講習を開催され、音楽学部生のレベルの向上にご尽力いただきました。音楽学部において現在も発展し続ける国際化の礎を築かれたと言っても過言ではありません。

そのジェルジョード先生が、本年4月1日ご逝去されました。享年81歳。謹んで哀悼の意を表します。

相愛オーケストラ 第70回定期演奏会を終えて

10月19日、ザ・シンフォニーホールにて尾高忠明客員教授の指揮による相愛オーケストラ第70回定期演奏会が開催されました。また今回は、第70回の記念すべき演奏会を前に「バリチューバアンサンブル」と「ジュニアオーケストラの弦楽アンサンブル」の2組がロビーコンサートを開催し、開演前から好評を博しつつ、演奏会が始まりました。

第一部では、ジュニアオーケストラの『ヴィヴァルディ／合奏協奏曲「調和の靈感」』、大学生のストリングオーケストラでの『武満徹／弦楽オーケストラのための「3つの映画音楽」』、一部の最後はジュニアオーケストラが、『チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」組曲より「情景・ワルツ・白鳥たちの踊り・ハンガリーの踊り・終幕の情景」』を演奏しました。第二部はシンフォニーオーケストラが『シベリウス／交響曲第2番ニ長調』を熱演し、尾高先生より観客の皆様へ、「長年に渡るオーケストラ教育の歴史を刻みつつ、故斎藤秀雄教授の薫陶を受け、その教育を受け継いでいるのは今や相愛オーケストラだけである」との話がありました。

アンコールでは、ジュニアオーケストラの子どもたちを加えて、『シベリウス／カリリア組曲より「マーチ」』を演奏。子どもたち、学生たちの生き生きとした演奏と迫力に観客席より大喝采を受け、演奏会は幕となりました。



大学院生／音楽学部生／卒業生 受賞等一覧

- 稲本 愛歌 大学院1年生 チェロ
 - ・ 第21回姫路バルナソス音楽コンクール 弦楽器部門 入賞/池辺晋一郎賞
 - ・ 第1回日本奏楽コンクール 一般の部 第4位(最高位)/現代音楽賞
- 北得 有希子 4回生 ピアノ
 - ・ 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会 ピアノ部門 大学生の部 第5位
- 木下 実優 4回生 ピアノ
 - ・ ウィーン国立音楽大学マスタークラス ディヒラーコンクール 第3位
- 遠藤 さくら 4回生 サクソフォン
 - ・ 第8回あおによしコンクール 第2位
- 松本 優輝 4回生 打楽器
 - ・ 第9回岐阜国際音楽祭コンクール 打楽器大学生部門 第1位/優秀賞/KOROGI賞
 - ・ 第22回神戸松方ホール音楽賞 打楽器部門 奨励賞
 - ・ 第1回東京国際マリンバコンクール 入賞
- 佐藤 羽香 4回生 創作演奏
 - ・ エレクトーンフェスティバル(EF)2018 一般部門 地区ファイナル 金賞
 - ・ ヤマハエレクトーンコンクール(YEC)2018 一般部門 選考会ファイナリスト/グランドファイナル出場
- 岡本 実緒 3回生 ピアノ
 - ・ 第12回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 大学・院生Aの部 本選最優秀賞/全国大会出場予定
- 田宮 緋紗子 3回生 ピアノ
 - ・ 第20回ショパン国際ピアノコンクール inASIA 地区大会 銅賞/全国大会出場予定
- 船迫 真衣 3回生 サクソフォン
 - ・ 第19回大阪国際音楽コンクール 管楽器部門 Age-U 第1位/大阪府知事賞/音楽現代賞
- 羽田 愛莉 2回生 ピアノ
 - ・ 第12回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 大学・院生Aの部 本選優秀賞/全国大会出場予定
- 笹岡 志帆 1回生 サクソフォン
 - ・ 第19回大阪国際音楽コンクール 管楽器部門 Age-U エスポール賞
- 川向 志保 2017年卒業生 打楽器
 - ・ 第22回神戸松方ホール音楽賞 打楽器部門 奨励賞
- 山内 由華 2017年卒業生 声楽
 - ・ KOSMA 声楽コンクール 銀賞/奨励賞
- 井川 華 2015年卒業生 ピアノ
 - ・ 第3回 Future Stars International Piano Competition (アメリカ) Young Masters 部門 第3位/ Best Haydn performance 賞
- 顧 夢菲 2015年卒業生 ピアノ
 - ・ Clavis Bavaria 国際ピアノコンクール(ドイツ) 第2位/バッハ賞
 - ・ ミラノ国際音楽コンクール(イタリア) 第2位
- 水崎 安美 2014年卒業生 ピアノ
 - ・ 第40回阪神ジュニア音楽コンクール ドビュッシー没後100年記念の部 本選出場予定
- 吉田 周平 2013年卒業生 打楽器
 - ・ Percussive Arts Society Italy 主催「イタリア国際打楽器コンクール」ティンパニ部門 第3位
- 岩橋 美紀 2013年卒業生 ピアノ
- 福山 智子 2012年卒業生 ピアノ
 - ・ 第11回かやぶき音楽堂国際ピアノデュオコンクール B部門 ファイナリスト

桂春團治 襲名披露公演



おなじみの相愛寄席です。第9回の今年には「四代目桂春團治襲名披露公演」という記念すべき会となりました。長年、客員教授として本学の教育にご尽力いただいております桂春之輔師匠が、「桂春團治」を襲名されたため、そのお披露目となったのです。四代目襲名は、上方落語界のみならず、本学にとりましても大きな慶事です。

振り返ってみれば、相愛寄席の第1回から第3回までは三代目桂春團治師匠が登場して下さっていました。第4回の際は体調が思わしくなく休演。やがて悲しい別れとなりました……。そのためしばらく途絶えていた「野崎」の出囃子が、再び相愛学園の講堂に響いたのです。実に感動的でした。

この日は、桂きん枝師匠・桂梅團治師匠・桂治門師匠が花を添えるという豪華なラインアップ。華やかで濃密な会でした。

第9回相愛寄席 人文学部 公開授業 大阪文化特殊講義—宗教と芸能の人間学—

学生が主体となって運営

人文学部1回生後期の必修科目である「基礎演習B」の一環として、受講生全員が「相愛寄席」に様々な形で関わりました。学生たちは、日本・大阪の伝統芸能である落語文化について学んだ後、広報や舞台設営、来場者の案内など各々の役割を通じて、「相愛寄席」実施の一翼を担いました。相愛の地元大阪の文化を深く知ると同時に、ひとつの役割に伴う責任の重みや「もてなしの心」の大切さを学ぶ、絶好の機会となりました。



地域に広がる学び 相愛ならではの学び

人文学部では、相愛ならではの学びを公開講座・授業として広く地域の方々にも提供しています。人気の3講座を紹介します。

名越康文客員教授「宗教心理学」

今年も名越康文客員教授による「宗教心理学」の講座が開講されました。精神科医である名越教授は、多彩な活動で知られています。連続公開講座ですので、学生も社会人も共に机を並べての受講となります。アドラー心理学と体癖論を中心に、心理療法から音楽や映画にいたるまで、幅広いトピックスが取り上げられています。また、毎回、釈徹宗教授や井上陽准教授とのコラボレーション講義となっているのも特徴的です。



教授たちとの
コラボレーション講義で
心理学を学ぶ

宮崎哲弥客員教授「仏教原論」

今年度より客員教授に就任した評論家・宮崎哲弥教授による仏教思想を語る講座です。政治・経済などの評論家としてメディアにも数多く出演されている宮崎教授は、実は仏教思想にも造詣が深いのです。すでに仏教に関する著書も刊行され、その宮崎教授がライブで仏教を語るというから大注目です。講座最後の質問コーナーでは、宮崎教授と受講の皆さまとの直接対話があります。講座でしか見せない宮崎教授のお人柄も魅力です。

メディアで
お馴染みの教授から
直接仏教を学べる



笑いあり、驚きあり！
楽しみながら学ぶ
上方落語の歴史と特長



桂文我客員教授「上方落語論」

すっかりお馴染みになった桂文我客員教授の「上方落語論」。落語の歴史をたどりながら、上方落語の特質を浮き彫りにするアカデミックな講義で、教授持ち前のスパイスを効かせた話術は、笑い目から鱗の連続です。今は亡き名人の声色を次々に披露し、浪曲の節回しまでレクチャー。適宜、膨大なコレクションから江戸期の版木本や明治・大正期の音源(SP)を紹介され、それを手に取って見られるのが受講生の特典。学外では「落語アカデミー」もあります。

人文 TOPICS



ご縁深い企業から学ぶ社会人基礎力 アサヒ飲料株式会社

100年前の出会いが、いま再び！ およそ100年前に誕生した誰もが知る「カルピス」の命名には、「赤とんぼ」で有名な、初代音楽学部長の山田耕筰先生が関わっていました。そんなご縁から実現したのが「カルピスから学ぶ」でした。国民的飲料カルピスの創業者・三島海雲氏は浄土真宗本願寺派の僧侶であり、彼が掲げた「国利民福」の理念は、浄土真宗、大乘仏教の精神を現したものです。なぜ関東大震災でカルピスが無料で配られたのかなど、裏話も学びました。



歴史と文化に触れ理解をより深める 学外研修

10月30日、人文学部2回生の学外研修が行われました。行き先は、前期の授業で学生自身が立案・選定したもので、今年は京都・伏見桃山エリアとなりました。当日は、幕末戊辰戦争の史跡、伏見の名水などを巡ったあと、月桂冠大倉記念館で日本酒作りの伝統と文化を学び、高瀬川の水運や坂本龍馬ゆかりの寺田屋などを訪れました。歴史と文化を体感しながら、学生と教員との親睦を深めることができた1日でした。

子ども発達学科



子ども発達学科の新しい学修環境「相愛子ども農園」の完成に伴い、「相愛ビオトープとつどいの里山」(野外学修環境)マップを作成しました。ここでは、完成した農園でのたくさんの実践から、特に地域の子どもたちとの交流を通じた活動をご紹介します。まず、3回生が地域の保育園児と稲刈り体験をしました(10月25日)。鎌を使って稲を刈る作業は学生もほとんどが初体験。4回生のサポートでリハー



相愛ビオトープとつどいの里山

自然の中で子どもたちと交流

サルをしてから本番です。子どもたちが応援する中すべて刈り取りました。刈り取った稲は学生が束ね、子どもたちにプレゼント。子どもたちは



れしそうにかかえて帰っていました。

10月10日と11月1日は、2回生と3回生がそれぞれ地域の園児たちと芋掘りです。子ども一人ひとりに学生が寄り添い、芋掘りに挑戦しました。今年は台風が多かったこともあり、お芋の生育を心配しましたが、無事に畝(ウネ)からお芋の姿が出てくるたびに、農園は子どもたちの歓声でいっぱいになりました。子どもの自然への関わりを援助する力が、学生たちの中に育っていました。

徹底した実践教育の充実と発展
子どもたちとの交流を通してより深く学ぶ

Part 2

子ども発達学科の4隊

体験し学びの質を深める

子ども発達学科では、「主体的・対話的で深い学び」の体制の強化を図るため、生活経験知や協同的な活動経験等が乏しい学生の

状況を踏まえ、『実際に体験する機会』を充実させています。具体的には「保育・教育マネジメント」の授業や本学の学修環境を活かし、4種類の実践チーム(①わくわく隊、②ビオトープ隊、③おはなし隊、④みそ汁隊)が活動しています。各チームは全学年が参画可能で、上級生から学ぶ、また下級生の学びに寄り添い、他者の行動を観察し、その行動から学ぶ(モデリング)という体験を通して学びを深めています。学ぶことへの興味や関心、自ら学ぶ姿勢を高める姿がみられています。



わくわく隊



ビオトープ隊



おはなし隊



みそ汁隊

発達栄養学科

相愛大学×大阪ガス 食育推進プロジェクト



大阪ガスッキングスクール

“地産地消”はいいことづくめ!!
パパッとできる! 大阪産を使ったかんたん・おいしい・ヘルシーな「和食」

7月に大阪ガスッキングスクール淀屋橋で4回生8名が「いっぱい食べよう・野菜プラスワン」、「魚の魅力再発見?!stop!魚離れ」をテーマに大阪産の野菜や魚の上手な摂り方をプレゼンする、食育推進プロジェクトに取り組みました。魚料理を作る機会が増えるきっかけになるとの意見をいただき、学生たちは「伝えたいことが伝わった」と嬉しそうでした。

楽しい夏休み子ども「今日から始めよう!エコ・クッキング」
大阪ガスハグミュージアム



8月24日、大阪ガスハグミュージアムにて地域の小学生を対象に「エコ・クッキング」とセミナーを開催しました。学生たちは「食事に感謝しよう!」、「食品ロスを減らそう!」、「バランスのよい食事をしよう!」の3つをテーマに手作り紙芝居を作成。わかりやすく伝えるように、何度も試行錯誤を繰り返し、当日は子どもたちの笑顔に大満足の様子でした。

※「エコ・クッキング」は、東京ガス(株)商標登録

相愛大学×京阪百貨店 食育フェスタ第4弾

伝える 食育の大切さを



京阪百貨店守口店で5月に食育フェスタを開催。幅広い年齢の方に「見て、体験して、覚えて」いただける内容を企画しました。人工クラ作り、食育紙芝居の実演、体脂肪および骨密度測定などを通して食育の大切さを啓発することができました。「わかりやすく伝えることの難しさを実感したが、とても充実した1日でした」と、学生たちは成長した一面をみせてくれました。

高齢者食支援プロジェクト

スイーツ作りを通じて食育実践

4回生12名が、南港咲洲特別養護老人ホームで5~7月の3回、高齢者とともにスイーツ作りを行いました。学生たちはリハビリにもつながる作業を取り入れたレシピを考案し、毎回約30名の方が参加されました。実習後は野菜クイズや手遊び歌などを歌い交流を深めました。



ちりめんmonsterを探せ
プロジェクト型活動

「夏休みの自由研究お助けシリーズ」(8月1~4日)では、「お米」「海藻」「魚」「野菜」「クッキング」をテーマに5つのプログラムを実施。「大阪近郊の海にひそむちりめんmonsterを探せ」では、小学生だけでなく保護者も、虫眼鏡を片手に身近な魚の幼魚「ちりめんmonster」探しに熱中しました。夏休みの宿題として、楽しく学べるプログラムでした。



着実に広がる実践の場
地域社会や企業に求められる相愛大学

めざせ! 管理栄養士

相愛大学×京阪百貨店
「美味笑福おせち」第4弾!



発達栄養学科の学生と京阪百貨店がコラボし「美味笑福おせち」の開発を行いました。第4弾は3回生4名と2回生2名のチームが開発。伝統食材を活かしながら健康を気づかう方にも配慮し、ご家族3世代で楽しめるおせち料理となっています。

相愛大学×ニッタバイオラボ
「レシピ創造プロジェクト」第3弾!

(株)ニッタバイオラボとコラボし、2016年からゼラチンやアガーを使った「からだにやさしい健康的な食事」を提案しています。第3弾は4回生23名がメニューを開発。ゼラチンの機能性を活かして高齢者の栄養・水分補給、嚥下(えんげ)障害対応食への展開、低エネルギー食など、幅広い分野で学生の柔軟なアイデアを取り入れたレシピを発信しています。



アイデアとやさしさが
ぎゅっつまって!

今考える平和への貢献

公益財団法人大阪国際平和センターと連携協定

中学・高校



提携書を交わす安居健治校長（右）とピースおおさかの京極務代表理事（左）



7月24日、相愛中学校・高等学校は、公益財団法人大阪国際平和センター（ピースおおさか）と平和への貢献を目的とした連携協定を締結しました。本校は、2014年から同センターが主催する「平和コンサート」に毎年、音楽科生徒による演奏協力を行っています。この交流を機に、大阪復興のシンボルである御堂筋に位置する本校ならではの教育活動の姿として、いのちそのものの尊さを見つめるなかで、平和の意義を考え、積極的にその社会の実現に貢献していくことが大切な役割であるとの考えを新たにしました。今後は、同センターの協力のもと、生徒のみならず教職員、学校関係者、地域の方々などを対象とした、校内での資料の出張展示、大阪大空襲の語り部の派遣による平和に関する学習イベントなどを検討し、戦争を知らない若い世代へも、分かりやすく、より体感的に伝えていく環境づくりを推進していく予定です。

素晴らしい演奏と合唱で お客様の心に響かせる 第2回定期演奏会

中学・高校

10月27日に高校音楽科・中学音楽科進学コースによる「第2回定期演奏会」を開催しました。司会は、昨年度NHK全国中学校放送コンテスト「アナウンス部門」で最優秀賞を受賞した高校1年神館光さんです。当日は、朝のリハーサルから立ち会い、本番は、長い司会原稿を見事にこなしてくれました。

独奏やアンサンブルは、成績優秀者より選抜され、各専攻の代表として素晴らしい演奏を披露してくれま

した。電子オルガン伴奏での中学合唱や高校合唱は、豊かな表現力で、会場内のお客様の心に響く感動的な演奏でした。

プログラムの最後は、相愛大学音楽学部の中谷満教授の指揮による合唱&合奏です。オーケストラとピアノ2台という独特の音色の中、合唱を合わせ、迫力のある「動物の謝肉祭」をお届けしました。超満員のお客様の前で演奏できた喜びは、かけがえのない思い出となりました。



司会をする神館光さん



「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」で 最優秀作品に選ばれる

高校



9月18日の第38回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に向けて、「非戦・平和について」「いのちの尊さ」をテーマとした作文を全校生徒に募集しました。その中から、高校3年生の大岡光咲さんの作品「世界へ無視しないために」が宗門関係学校高等学校16校31作品の中から最優秀作品に選ばれました。「地球の裏側で起こっている紛争や貧困の問題について、解決することは難しいが知ることできる。関心をもつことが行動へとつながり、やがて大きな力となり世界の平和につながる」ということを参拝者に前に心を込めて朗読し、伝えることができました。

高校

新体操部3人が国体出場



10月7日、8日、福井県のサードーム福井にて「福井しあわせ元気国体2018」が開催され、新体操部高2の中川真子さん、浦山華奈さん、山岡優希さんが大阪代表選手として参加しました。複数の所属チームから選手を選抜してチームを結成し、練習場所を転々とする毎日。身体的、精神的負担も多く大変でしたが、選手たちは自分自身の弱さと戦い、励まし合い乗り越え、そして本番を迎えました。大阪からたくさんの方たちが応援に駆けつけた中、選手たちは精一杯の演技を行いました。この経験は今後、「相愛のチーム」を作り上げていく上で、とても貴重なものになりました。

「龍谷アドバンスプロジェクト」で優秀賞

8月21日～23日に開催された「龍谷アドバンスプロジェクト」に本校から4名の生徒が参加しました。これは、龍谷総合学園の高大連携事業として、各校代表チームが、2泊3日の合宿を通してさらに探究を深めるという企画です。生徒たちは「知らない・選べない・世間体～夫婦別姓をもっと身近に」というテーマで法学部門の研究に取り組みました。街頭インタビューやSNSを活用した調査なども取り入れながら、最終日には独自の研究成果を発表し、優秀賞を受賞しました。この活動を通して、探究する力やプレゼンテーションの力は飛躍的に高まりました。

高校



第72回全日本学生音楽コンクール



音楽科3年生
谷本沙綾さん



音楽科3年生
松蔭ひかりさん

バイオリン部門 谷本さん
チェロ部門 松蔭さん **第1位に輝く**

12月3、4日に行われた第72回全日本学生音楽コンクール全国大会のバイオリン部門・高校の部で谷本沙綾さんが、チェロ部門・高校の部で松蔭ひかりさんがそれぞれ第1位に選ばれました。

国際交流

グローバルな視野を広げる

相愛精神で文化交流にも貢献
英国短期留学



ラビュタのモデルとなった世界遺産カナーヴェン城にて

バンガー大学での短期留学プログラム(9月・3週間)に音楽学部の学生2名が参加。ホームステイをしつつ、英会話、プレゼンテーション、劇、世界遺産訪問など様々な英語を学びました。さらに現地老人ホームで訪問演奏を行い、市関係者を含む約40名の前で、「赤と



ボランティア訪問演奏を終えて

んぼ」、「この道」他を演奏・歌唱し絶賛されました。相愛で育んだボランティア精神を实践し、文化交流にも貢献する有意義な留学となりました。

より生きた英語が学べる
ディスタンス・ラーニング

協定校の英国立バンガー大学およびダブリン大学トリニティカレッジ教養学部教員による、スカイプを使った遠隔講義が今年も行われています。まるで英国の先生が教室にいるかのような臨場感の中、会話表現や発音、英国の食事やマナー等の文化、『ピーターラビットのお話』のリーディングなどを、対話を交えて多彩に学び、英語学修へのさらなる動機づけと、グローバルな感覚を身につける貴重な機会となっています。



教材と修了証書



現在多くの大学で行われている留学生教育において、食育はほぼ手つかずの領域といわれています。今年度、約200名の留学生が在籍して

いる相愛大学では、留学生に対する「食」の支援は重要であると考え、「栄養・食生活の正しい知識の習得」「日本の伝統的な和食を学ぶ機会

「留学生と日本人学生との交流」の3つを目的として、11月8日と15日、発達栄養学科は国際交流部と連携して「留学生のための食育プロジェクト」を開催しました。

発達栄養学科の1、2回生がサポートして和食作りや、日本の食文化や健康な食事についてのプレゼンテーションを行い、参加した留学生のうち、8割から「自分の食生活に役立つ内容」という評価を得ました。

その他にも、体組成・骨密度測定で自分のからだの状態を知ってもらうなど、食の大切さを通して留学生との交流を深めることができた2日間となりました。



留学生のための食支援プロジェクト
人間発達学部発達栄養学科&国際交流部



中高体育祭
6月13日

中1「大玉転がし」、中2「ロープジャンプ」、中3「でかパン競争」、高1「台風の日」、高2「棒引き」、高3「クラスダンス」と、各学年種目だけでなく、「大玉送り」などの新たな競技でも大いに盛り上がりました。今年の体育祭のスローガンは「ONE」。中学生・高校生が一致団結し、応援に駆けつけた保護者の方々を含め、「同じものを共有し、1つになる」ことができた体育祭となりました。



乙女祭(文化祭)
11月3日

今年のテーマは「Belinda」、イタリア語で「かわいらしく、輝く」でした。中学生は学年展示やコーラスコンクール、高校生は各クラスの出し物、クラブでの発表など、この日のために創意工夫をし、準備をしてきました。その結果、それぞれの色を全面に出し、学校全体が華やかで、賑やかな空気につつまれました。たくさんの方にご来場いただき、乙女祭は大切な思い出となりました。



高校 北海道

5月末、修学旅行で北海道を訪れました。トマムでの体験学習、旭山動物園での散策、小樽での班別研修など様々な活動をしました。班別研修は、自分たちで研修先を決め、自分たちで時間を管理して行動しました。普段はチャイムや教員の指示など受け身になりがちですが、修学旅行を通じて、自分で考え積極的に行動する力を身につけ、来年は自分の進路を自分の手でつかんでくれたらと願っています。

中学 沖縄

中学3年生は6月に修学旅行で沖縄に行きました。美しい海でのアクティビティ以外に、沖縄を訪れた目的の1つは『戦争の悲惨さや命の尊さについて考えを深め、平和を愛する心を強くする』というものです。アプチラガマ(糸数)では、暗闇の中で一般住民を巻き込んだ地上戦について思いをはせ、平和の礎では命を落とした方々の多さを目の当たりにし、ひめゆりの塔資料館では同世代の少女の学徒隊について学び、熱心に感想を書く姿も見られました。



初めての宿泊行事で
団結力を高める

オータムスクール in 東京



中学2年生が9月25日から2泊3日の日程で、東京でのオータムスクールを行いました。国会議事堂での参議院特別体験プログラム参加や、国立科学博物館見学の他、東京ディズニーランド等も訪問しました。宿泊先の築地本願寺では、朝のお勤めや、普段立ち入ることのできない場所の清掃など貴重な体験もできました。初めての宿泊行事でしたが、3日間寝食を共にするこの研修を通して学年の団結力は一層高まったように思います。



相愛大学附属音楽教室出身者による

Summer Concert

2018年10月6日 本町学舎 講堂

今年のサマーコンサートは当初、7月7日に予定されていましたが、豪雨のため延期になり、10月6日に開催されました。今回は、教室出身者の加茂夏来さん、島田瑠萌さん、教室講師の小柳祥子先生による器楽合奏でした。

秋らしい色鮮やかな衣装で登場し、クライスラー、ラフマニノフ、メンデルスゾーンの名曲の数々を演奏。音楽教室を修了し、たくましく成長して、再び教室のステージに戻ってきてくれたことに感動を覚えました。

相愛大学附属音楽教室

2019年度

教室生募集

A日程 3月17日(日)
願書受付 1月28日(月)~3月 8日(金)

B日程 4月7日(日)
願書受付 1月28日(月)~3月30日(土)

入室試験
募集対象=年齢2年前より大学受験生まで

●「2019年度春期入室準備コース」開講中 **毎月受付**

●相愛大学附属音楽教室 通信教育(楽典) **随時受付**

お問合せ ☎06-6262-0662 <http://www.soai.jp/onkyo>
※詳しくは募集要項をご覧ください。

●本学教員の近刊図書●

積 徹宗



歓異抄はじめました
親鸞聖人から届いたメッセージ
積 徹宗・大平 光代[共著]
●本願寺出版社(2018年4月発行)
定価1,512円(税込)



いまこそ知りたい仏教
幸せに生きるためのヒント
積 徹宗[監修]
●宝島社(2018年10月発行)
定価647円(税込)



異教の隣人
積 徹宗・毎日新聞
「異教の隣人」取材班[共著]
●晶文社(2018年10月発行)
定価1,782円(税込)

荒井 真理亜



赤い鳥事典
赤い鳥事典編集委員会[編]
(荒井 真理亜 他[執筆])
●柏書房(2018年7月発行)
定価14,040円(税込)

鈴木 徳男



時雨亭文庫二一俊頼髄臈
冷泉家時雨亭文庫[編]・鈴木 徳男[校正・解題]
●和泉書院(2018年9月発行)
定価13,500円(税込)



王朝歌合集
(和歌文学大系 48)
久保田 淳[監修]・鈴木 徳男 他[著]
●明治書院(2018年10月発行)
定価14,040円(税込)

コンクール入賞者

〈 高 校 〉

糟野 優香 (高3・ピアノ)	●第12回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 最優秀賞/全国大会 出場予定
	●第19回大阪国際音楽コンクール ピアノ部門 Age-Hファイナル 入選
	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 出場予定
菅野 市子 (高3・ピアノ)	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 出場予定
松浦 華奈 (高3・電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2018 ソロ演奏部門 大阪地区ファイナル 一般部門 審査員特別賞
桶谷 優衣 (高3・フルート)	●第34回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 奨励賞
	●第35回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 第5位
中辻 葵 (高3・クラリネット)	●第4回堺管打楽器コンクール 木管部門 高校の部 第2位
	●第72回全日本学生音楽コンクール 大阪大会本選 バイオリン部門 高校の部 第2位/全国大会 第1位 /横浜市民賞
	●第4回豊中音楽コンクール 高校の部 第2位
谷本 沙綾 (高3・ヴァイオリン)	●第20回日本演奏家コンクール 弦楽器部門 高校生の部 本選 第3位/神戸市長賞
	●第19回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-Hファイナル 第2位
	●第72回全日本学生音楽コンクール 名古屋大会本選 チェロ部門 高校の部 第1位 /全国大会 第1位
松蔭 ひかり (高3・チェロ)	●第18回泉の森ジュニアチェロコンクール 高校生以上の部 金賞
愛川 詩織 (高2・声楽)	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 入選
小松 磨未子 (高2・ピアノ)	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 出場予定
荒木 晴佳 (高2・フルート)	●第20回日本演奏家コンクール 木管部門 高校生の部 全国大会 出場予定
	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 入選
田村 凜果 (高2・ヴァイオリン)	●第76回福山音楽コンクール 中国新聞社賞
鬼塚 美瑠紅 (高1・ピアノ)	●第42回ビティナ・ピアノコンペティション 西日本京都E級 本選 入選
	●第12回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース 声楽部門 奨励賞
横井 青空 (高1・声楽)	●第6回あおよし音楽コンクール アマチュアステージ 奨励賞
	●第19回大阪国際音楽コンクール 声楽部門 Age-Hファイナル 入選
白井 香里 (高1・フルート)	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 出場予定
	●第6回あおよし音楽コンクール アマチュアステージ 弦楽器 高校生部門 第1位
福岡 真凜 (高1・ヴァイオリン)	●第19回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-Hファイナル 入選
	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 出場予定

〈 中 学 〉

松蔭 さとり (中3・ヴァイオリン)	●第20回関西弦楽コンクール 優秀賞/審査員賞
	●第28回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 出場予定
	●第20回関西弦楽コンクール 優秀賞/審査員賞
和田 涼音 (中2・ヴァイオリン)	●第72回全日本学生音楽コンクール 大阪大会本選 バイオリン部門 中学校の部 第3位 /全国大会 入選
	●第6回あおよし音楽コンクール アマチュアステージ 弦楽器 ジュニア部門 第1位 /教育長賞
中馬 朋香 (中2・ピアノ)	●第12回ベーテン音楽コンクール ピアノ部門 地区本選 優秀賞/全国大会 出場予定

音楽科コンサート報告

糟野 優香(高3・ピアノ)
●シンフォニア・アルシスOSAKA第1回定期公演
5/18 ザ・シンフォニーホール

桶谷 優衣(高3・フルート)
●第34回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール
入賞者披露演奏会
7/25 サントリーホール ブルーローズ

谷本 沙綾(高3・ヴァイオリン)・松蔭 ひかり(高3・チェロ)
西田 香織(高1・ヴァイオリン)・松蔭 さとり(中3・ヴァイオリン)
●佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ2018 定期演奏会
9/1・2 兵庫県立芸術文化センター

松蔭 ひかり(高3・チェロ)・谷本 沙綾(高3・ヴァイオリン)
福岡 真凜(高1・ヴァイオリン)・松蔭 さとり(中3・ヴァイオリン)
●世界に翔く若き音楽家たち
10/7 京都府立府民ホール アルティ

〈 音楽教室 〉

田中 柚誠 (小2・ヴァイオリン)	●第19回大阪国際音楽コンクール ユース部門 インファントB(小学3年生以下) 第3位
久保 美陽 (小3・ヴァイオリン)	●第30回京都子供のためのヴァイオリンコンクール 第3部門 銀賞・指導者グループ賞
	●第30回京都子供のためのヴァイオリンコンクール 第3部門 銀賞・指導者グループ賞
吉富 鈴音 (小4・ヴァイオリン)	●第28回日本クラシック音楽コンクール 京都本選 小学生・中学生の部 優秀賞
	●あおよし音楽コンクール 弦楽器 小学生部門 第2位
松岡 優鶴 (小5・ヴァイオリン)	●第19回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-E3 入選
岡村 有紗 (小6・ヴァイオリン)	●第28回日本クラシック音楽コンクール 地区本選 ヴァイオリン部門 優秀賞
岡田 桜子 (小6・ピアノ)	●第10回グレンツェンピアノコンクール 5・6年の部 全国大会 準優秀賞
	●第28回日本クラシック音楽コンクール 地区本選 ヴァイオリン部門 優秀賞(全国大会進出)
久保村 桃香 (中1・ヴァイオリン)	●第72回全日本学生音楽コンクール 大阪大会本選 バイオリン部門 中学生の部 入選
	●第20回日本演奏家コンクール 弦楽器部門 中学生の部 本選 第3位 /神戸教育委員会賞
	●第1回京都国際音楽コンクール 中学生の部 第3位
酒井 琴音 (中2・ピアノ)	●ピティナ・ピアノコンペティション 地区本選 E級部門 奨励賞
	●第6回あおよし音楽コンクール奈良 ピアノ中学生部門 第2位
渡辺 紗蘭 (中2・ヴァイオリン)	●第72回全日本学生音楽コンクール 大阪大会本選 バイオリン部門 中学生の部 第1位 /全国大会 入選
山下 日菜子 (中2・ピアノ)	●兵庫県学生ピアノコンクール 中学生部門 本選 奨励賞



学校法人 相愛学園
2017(平成29)年度 財務状況について

概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表の計算書は、「学校法人会計基準」に定められた計算書であり、同会計基準による様式は補助金交付の観点からの表示区分となっているため、一般的に知られている企業会計の計算書とは異なる点も多くある。

(1) 資金収支計算書

この計算書は、当該年度の教育研究等の諸活動に係るすべての収支内容、ならびに支払資金(現金・預貯金)の収支の顛末を明らかにすることを目的としている。お金の動きをすべて網羅した計算書(いわゆる、キャッシュフロー)であるため、収入には前受金収入、奨学貸付金回収収入等が含まれ、支出では借入金返済支出、資産運用支出等が含まれる。

① 収入の部

学生生徒等納付金収入の決算額は、18億8,347千円となった。手数料収入は入学検定料収入及び試験料収入等があり、16,833千円となった。寄付金収入は保護者会等からの一般寄付金で23,734千円となった。

補助金収入は、私立大学等経常費補助金などの国庫補助金収入及び高等学校中学校経常費補助金、授業料支援補助金などの地方公共団体補助金収入の補助金収入が4億43,590千円となった。

付随事業・収益事業収入は、高等学校・中学校の制服販売等購買部関係の売上を補助活動収入として21,298千円、大学附属音楽教室の収入を附属事業収入として18,977千円、不動産賃貸等による収益事業収入として1億650千円、教職免許状更新講習料3,522千円と合わせて1億44,447千円となった。

受取利息・配当金収入は、銀行等の預貯金利息で1,397千円となった。

雑収入は、その大部分を占める退職金財団交付金収入1億19,344千円となり、本町学舎の施設設備利用料とその他の雑収入を合わせて1億40,685千円となった。

② 支出の部

人件費支出は退職金支出を含め17億72,763千円となった。教育研究経費は、6億57,729千円となり、予算比38,455千円減少となった。管理経費は、1億85,703

千円となり、予算比12,822千円の増となった。管理経費には、私立大学等教育研究活性化施設整備事業返還金18,517千円も含まれる。

借入金等返済支出は、龍谷学事振興金庫への返済金27,000千円である。

施設関係・設備関係支出は、合わせて1億17,544千円となった。主な内容としては、南港講堂トイレ等改修工事等、設備関係の老朽化に伴う改修工事等の実施経費である。

資産運用支出10,360千円は、各引当特定資産への繰入支出である。

その他の支出2億24,549千円の大部分は、前年度末未払金支払支出である。資金支出調整勘定では、期末の未払金となった退職金及び所定福利費等を含んでいる。

結果、前年度よりの繰越した資金が6億32,528千円、翌年度への繰越資金が5億57,803千円と74,725千円の減少となり、また、予算額6億27,334千円と比較しても69,531千円の減少となった。

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書では「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の三区分別理となり、当年度の収支差額を出してから基本金組入額を差し引く形になった。

① 教育活動収支

学校の「本業」ともいえるべき、教育・研究活動に関する収支である。収入では学生生徒等納付金や施設整備目的以外の寄付金、経常費等補助金などを計上している。支出では人件費や教育研究経費、管理経費などがここに計上している。

教育活動収入合計は25億48,274千円、教育活動支出合計は29億53,015千円、結果、教育活動収支差額は4億4,741千円の支出超過となった。

② 教育活動外収支

学校の教育活動を側面から支える、財務的な活動や収益事業活動に係る収支である。収入では受取利息・配当金や収益事業収入など、支出では借入金等利息などを計上している。

教育活動外収入合計は1億2,046千円、教育活動外支出合計は357千円、結果、教育活動外収支差額は1億1,689千円とな

り、教育活動収支差額と合わせた経常収支差額は3億3,052千円の支出超過となった。

③ 特別収支

特別な要因によって発生した、学校法人の臨時的な収支であり、収入では資産売却差額(売却益が出た場合)や施設整備に関する寄付金・補助金、現物寄付金などが、支出では資産処分差額(売却損が出た場合)や災害損失などをここに計上する。特別収入合計は3,567千円、特別支出合計は1億63,236千円となり特別収支差額は1億59,670千円の支出超過となった。なお、特別支出における過年度修正額1億3,533千円は、平成28年度の退職給与引当金特別繰入額の算出誤りを本年度修正するものである。

これらの3つの収支を合計したものが「基本金組入前当年度収支差額」で4億62,721千円の支出超過となり、予算額3億71,112千円と比較しても91,610千円の支出超過になった。また、前年度2億64,787千円の支出超過額と比較しても1億97,934千円悪化した。

基本金組入額合計は88,345千円で基本金組入後の当年度収支差額は5億51,067千円となった。前年度繰越収支差額113億6,130千円の支出超過額と合わせて翌年度繰越収支差額は118億57,197千円の支出超過となった。

(3) 貸借対照表

この表は年度末の財政状態を表し、当年度末と前年度末の額の対比で変動を確認し、資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)別に計上している。

資産の減少は、減価償却と資産の除却損等の減少によるものである。負債においては、借入金等が長・短期合計で2億11,000千円である。

結果、翌年度繰越収支差額(累計額)は118億57,197千円の支出超過となった。学校法人は収入超過での繰越収支差額を目的とするのではない。とはいえ、財務の安全性を図り、収支均衡のためにも資金の積上げが不可欠な状況にある。

※2017(平成29)年度 事業報告書より抜粋



平成29年度決算

(1) 資金収支計算書 平成29(2017)年4月1日～平成30(2018)年3月31日まで

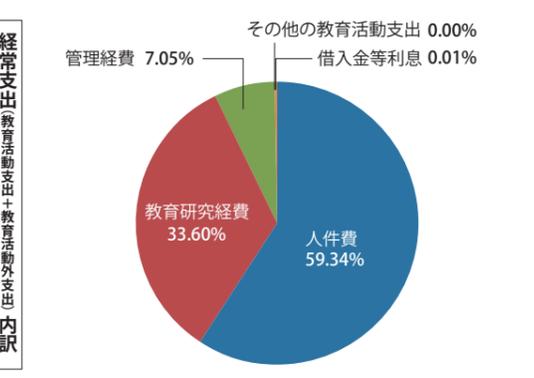
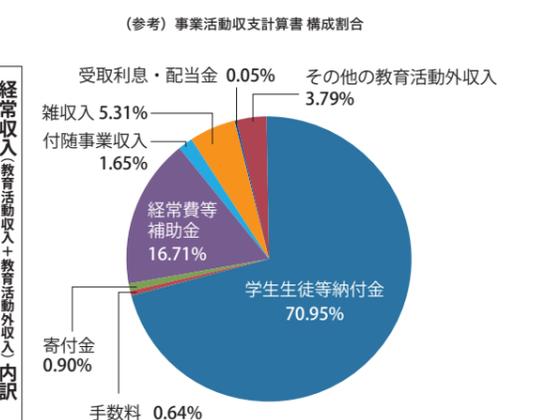
(1) 資金収支計算書				(2) 事業活動収支計算書			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,888,843,000	1,880,346,816	8,496,184	学生生徒等納付金	1,888,843,000	1,880,346,816	8,496,184
手数料収入	22,374,000	16,832,740	5,541,260	手数料	22,374,000	16,832,740	5,541,260
寄付金収入	23,178,000	23,734,000	△556,000	寄付金	23,178,000	23,734,000	△556,000
補助金収入	438,993,000	443,589,634	△4,596,634	経常費等補助金	432,782,000	442,878,634	△10,096,634
国庫補助金収入	173,082,000	157,172,000	15,910,000	国庫補助金	167,371,000	156,461,000	10,910,000
地方公共団体補助金収入	265,911,000	286,417,634	△20,506,634	地方公共団体補助金	265,411,000	286,417,634	△21,006,634
付随事業・収益事業収入	154,834,000	144,446,780	10,387,220	付随事業収入	52,645,000	43,797,067	8,847,933
受取利息・配当金収入	1,396,000	1,396,595	△595	雑収入	134,218,000	140,685,066	△6,467,066
雑収入	134,218,000	140,685,066	△6,467,066	教育活動収入計	2,554,040,000	2,548,274,323	5,765,677
前受金収入	284,673,000	223,018,560	61,654,440	人件費	1,756,532,000	1,737,668,070	18,863,930
その他の収入	127,185,000	121,682,262	5,502,738	教育研究経費	1,018,609,000	983,834,171	34,774,829
資金収入調整勘定	△358,993,000	△389,778,141	30,785,141	管理経費	192,729,000	206,377,192	△13,648,192
前年度繰越支払資金	632,528,045	632,528,045	0	徴収不能額等	17,223,000	25,135,877	△7,912,877
収入の部合計	3,349,229,045	3,238,482,357	110,746,688	教育活動支出計	2,985,093,000	2,953,015,310	32,077,690
				教育活動収支差額	△431,053,000	△404,740,987	△26,312,013
				受取利息・配当金	1,396,000	1,396,595	△595
				その他の教育活動外収入	102,189,000	100,649,713	1,539,287
				教育活動外収入計	103,585,000	102,046,308	1,538,692
				事業活動収入の部	2,985,093,000	2,953,015,310	32,077,690
				借入金等利息	357,000	357,000	0
				教育活動外支出計	357,000	357,000	0
				教育活動外収支差額	103,228,000	101,689,308	1,538,692
				経常収支差額	△327,825,000	△303,051,679	△24,773,321
				事業活動収入の部	8,480,000	3,566,682	4,913,318
				特別収入計	8,480,000	3,566,682	4,913,318
				資産処分差額	0	7,936,097	△7,936,097
				その他の特別支出	51,766,727	155,300,181	△103,533,454
				特別支出計	51,766,727	163,236,278	△111,469,551
				特別収支差額	△43,286,727	△159,669,596	116,382,869
				基本金組入前当年度収支差額	△371,111,727	△462,721,275	91,609,548
				基本金組入額合計	△151,019,000	△88,345,305	△62,673,695
				当年度収支差額	△522,130,727	△551,066,580	28,935,853
				前年度繰越収支差額	△11,306,130,492	△11,306,130,492	0
				基本金取崩額	0	0	0
				翌年度繰越収支差額	△11,828,261,219	△11,857,197,072	28,935,853

(2) 事業活動収支計算書 平成29(2017)年4月1日～平成30(2018)年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,888,843,000	1,880,346,816	8,496,184
手数料	22,374,000	16,832,740	5,541,260
寄付金	23,178,000	23,734,000	△556,000
経常費等補助金	432,782,000	442,878,634	△10,096,634
国庫補助金	167,371,000	156,461,000	10,910,000
地方公共団体補助金	265,411,000	286,417,634	△21,006,634
付随事業収入	52,645,000	43,797,067	8,847,933
雑収入	134,218,000	140,685,066	△6,467,066
教育活動収入計	2,554,040,000	2,548,274,323	5,765,677
人件費	1,756,532,000	1,737,668,070	18,863,930
教育研究経費	1,018,609,000	983,834,171	34,774,829
管理経費	192,729,000	206,377,192	△13,648,192
徴収不能額等	17,223,000	25,135,877	△7,912,877
教育活動支出計	2,985,093,000	2,953,015,310	32,077,690
教育活動収支差額	△431,053,000	△404,740,987	△26,312,013
受取利息・配当金	1,396,000	1,396,595	△595
その他の教育活動外収入	102,189,000	100,649,713	1,539,287
教育活動外収入計	103,585,000	102,046,308	1,538,692
事業活動収入の部	2,985,093,000	2,953,015,310	32,077,690
借入金等利息	357,000	357,000	0
教育活動外支出計	357,000	357,000	0
教育活動外収支差額	103,228,000	101,689,308	1,538,692
経常収支差額	△327,825,000	△303,051,679	△24,773,321
事業活動収入の部	8,480,000	3,566,682	4,913,318
特別収入計	8,480,000	3,566,682	4,913,318
資産処分差額	0	7,936,097	△7,936,097
その他の特別支出	51,766,727	155,300,181	△103,533,454
特別支出計	51,766,727	163,236,278	△111,469,551
特別収支差額	△43,286,727	△159,669,596	116,382,869
基本金組入前当年度収支差額	△371,111,727	△462,721,275	91,609,548
基本金組入額合計	△151,019,000	△88,345,305	△62,673,695
当年度収支差額	△522,130,727	△551,066,580	28,935,853
前年度繰越収支差額	△11,306,130,492	△11,306,130,492	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△11,828,261,219	△11,857,197,072	28,935,853

(3) 貸借対照表 平成30(2018)年3月31日

資産の部			負債の部				
科目	本年度末	前年度末	科目	本年度末	前年度末		
固定資産	14,904,384,752	15,141,026,206	△236,641,454	固定負債	1,124,628,311	995,724,656	128,903,655
有形固定資産	13,940,324,082	14,178,142,195	△237,818,113	長期借入金	184,000,000	211,000,000	△27,000,000
土地	6,579,213,600	6,579,213,600	0	その他の固定負債	940,628,311	784,724,656	155,903,655
建物	5,263,258,870	5,451,994,593	△188,735,723	流動負債	605,939,053	558,889,863	47,049,190
その他の有形固定資産	2,097,851,612	2,146,934,002	△49,082,390	短期借入金	27,000,000	27,000,000	0
特定資産	842,887,942	843,388,771	△500,829	その他の流動負債	578,939,053	531,889,863	47,049,190
その他の固定資産	121,172,728	119,495,240	1,677,488	負債の部合計	1,730,567,364	1,554,614,519	175,952,845
流動資産	699,775,436	749,902,412	△50,126,976	純資産の部			
現金預金	557,803,438	632,528,045	△74,724,607	基本金	25,730,789,896	25,642,444,591	88,345,305
その他の流動資産	141,971,998	117,374,367	24,597,631	第1号基本金	25,322,789,896	25,234,444,591	88,345,305
				第3号基本金	200,000,000	200,000,000	0
				第4号基本金	208,000,000	208,000,000	0
				繰越収支差額	△11,857,197,072	△11,306,130,492	△551,066,580
				翌年度繰越収支差額	△11,857,197,072	△11,306,130,492	△551,066,580
				純資産の部合計	13,873,592,824	14,336,314,099	△462,721,275
資産の部合計	15,604,160,188	15,890,928,618	△286,768,430	負債及び純資産の部合計	15,604,160,188	15,890,928,618	△286,768,430



2019年度



入試日程

相愛大学入試日程

学部	種別	出願受付期間 (音楽・人文・人間発達共、 消印有効・最終日は現金受付可)	試験日	合否発表
音楽	一般A入試	1月11日(金)～1月18日(金)	2月 1日(金)・2日(土)	2月 9日(土)
	音楽学科		2月 1日(金)	
	音楽学・音楽療法・アートプロデュース専攻		2月 1日(金)	
	一般編入学後期試験		2月 1日(金)・2日(土)	
	音楽専攻科入試		2月 1日(金)	
	社会人特別入試		2月 1日(金)	
	留學生一般入試		2月 1日(金)	
人文・人間発達	一般B入試	2月12日(火)～2月19日(火)	2月28日(木)	3月 5日(火)
	一般C入試	3月 8日(金)～3月22日(金) ★	3月25日(月)	3月26日(火)
	大学院入試(後期選抜)	2月12日(火)～2月19日(火)	2月28日(木)・3月1日(金)	3月 9日(土)
	一般A入試	1月11日(金)～1月18日(金)	2月1日(金)	2月 9日(土)
	社会人特別入試			
	一般編入学後期試験			
	留學生一般A入試(人文)			
	留學生一般A編入学試験(人文)	1月11日(金)～1月17日(木)		
	外国人留學生入試(人間発達)			
	短期留學生編入学試験(人文)	1月11日(金)～1月28日(月)	本学独自の試験は実施しない	
	センター試験利用A入試			
	一般B入試	2月12日(火)～2月19日(火)	2月28日(木)	3月 5日(火)
	ファミリー(後期)入試(人間発達)			
	センター試験利用B入試	3月 7日(木)～3月13日(水)	3月20日(水)	3月23日(土)
一般C入試				
センター試験利用C入試				
寺院特別推薦C入試				
寺院特別推薦編入学試験(後期)(人文)	3月 7日(木)～3月12日(火)	3月20日(水)		
留學生一般C入試(人文)				
留學生一般C編入学試験(人文)				

★3月19日(火)郵送必着、3月22日(金)窓口受付(正午まで)

※留學生入試の出願受付は最終日必着

※音楽学部一般A入試の各専攻の試験日については、2019年度入学試験要領でご確認下さい。

●お問い合わせ先 相愛大学 入試課
電話：06-6612-5905
FAX：06-6612-6090

相愛高等学校入試日程

		1次入試
普通科	受付	窓口受付
	出願期間	1月21日(月)～2月 1日(金)
	試験日	2月 9日(土)
音楽科	受付	窓口受付
	出願期間	1月21日(月)～2月 1日(金)
	試験日	2月 9日(土)、2月10日(日)

※受付時間 9:00～16:00(平日・土曜とも、日曜・祝日は休み)

相愛中学校入試日程

		A日程	B日程	C日程
受付	窓口受付	窓口受付	窓口受付	窓口受付
出願期間	1月7日(月)～1月18日(金)	1月7日(月)～1月19日(土)	1月7日(月)～1月24日(木)	
試験日	1月19日(土)	1月20日(日)	1月25日(金)	

※受付時間 9:00～16:00(平日・土曜とも、日曜・祝日は休み)

※12月22日(土)は、9:00～13:00まで受付いたします。

●お問い合わせ先 高中事務室 電話：06-6262-0621 FAX：06-6262-0534

相愛学園Event Guide

(2019年1月～3月)

Ⓢ = 本町学舎 Ⓣ = 南港学舎

○元旦礼拝

1月1日(火・祝)11:00～
本願寺津村別院(北御堂)本堂

○親鸞聖人御正忌法要／

学園関係物故者追悼法要
1月16日(水) Ⓢ講堂
学園関係者対象

○古楽器・アンサンブル演奏会

1月22日(火) Ⓣホール 入場無料

○北御堂相愛コンサート

1月24日(木)12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○高校1年生 乙女コンサート

1月26日(土) Ⓢ講堂 入場無料

○相愛中学校音楽科進学コース

乙女コンサート
2月2日(土) Ⓢ講堂 入場無料

○平成30年度人文学部公開講座

『人文学を楽しむ Part2』
～“宗教の共存”について考える～
講師：釈徹宗 教授

2月16日(土)14:00～16:00

ⓈF604教室 入場無料

○相愛高等学校音楽科 卒業演奏会

2月16日(土) Ⓢ講堂 入場無料

○北御堂相愛コンサート

2月28日(木)12:25～12:45

本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○相愛高等学校卒業奉告参拝／帰敬式

2月28日(木)
浄土真宗本願寺派本願寺(西本願寺)

○相愛高等学校卒業式

3月2日(土) Ⓢ講堂

○相愛オーケストラ

第69回定期演奏会
3月7日(木) いずみホール

入場料：2,000円(座席指定)

○相愛ウィンドオーケストラ

ポップスコンサート
3月10日(日) Ⓣホール 入場無料

○相愛大学卒業奉告参拝

3月14日(木)

本願寺津村別院(北御堂)

○相愛中学校卒業奉告参拝

3月15日(金)

本願寺津村別院(北御堂)

○相愛中学校卒業式

3月16日(土) Ⓢ講堂

○相愛大学卒業式

3月18日(月) Ⓣホール

○相愛ジュニアオーケストラ

第19回発表演奏会

3月21日(木・祝) Ⓢ講堂

入場無料

○相愛大学卒業演奏会

3月24日(日) Ⓣホール

○相愛大学卒業演奏会／

音楽専攻科修了演奏会

3月27日(水)

いずみホール

入場料：1,000円(全席自由)

○北御堂相愛コンサート

3月27日(水)12:25～12:45

本願寺津村別院(北御堂)本堂

入場無料

○相愛大学オープンキャンパス

3月28日(木)

Ⓣキャンパス 事前申込不要